

「SDGs未来都市」、「自治体SDGsモデル事業」に選定されました ～「宝の都(くに)・大崎」の実現に向けた持続可能な田園都市の創生～

世界農業遺産推進課企画調整担当 ☎23-2281

内閣府では、SDGsの達成に向け、SDGsの優れた取り組みを提案する都市を「SDGs未来都市」として選定しています。本市は、令和4年度の「SDGs未来都市」の選定に向け2月に申請を行い、5月20日に選定されました。

また、「SDGs未来都市」のうち、特に優れた先導的な取り組みを提案した10都市が選定される「自治体SDGsモデル事業」に、本市の「大崎耕土GIAHSを核とした持続可能な地域社会づくり」が選定されました。

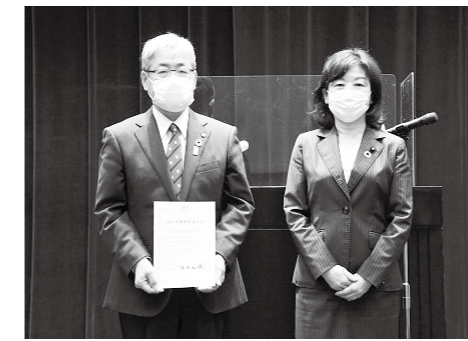
SDGs(Sustainable Development Goals)とは？

持続可能な開発目標という意味で、「誰一人取り残さない」持続可能で、よりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。17のゴール、169のターゲットから構成されています。

SDGs未来都市とは？

SDGsの理念に沿った基本的・統合的取り組みを推進しようとする都市・地域の中から、特に「経済」「社会」「環境」の3つの側面において、新しい価値創出を通して、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定されます。

本市の選定は、県内では東松島市、仙台市、石巻市に次いで4番目です。



5月20日に東京都で開催された令和4年度「SDGs未来都市」認定証授与式



野田聖子地方創生担当大臣から高橋副市長へ認定証が授与されました

デジタル・トランスフォーメーション推進に関する連携協定を締結しました

5月25日、凸版印刷株式会社と「デジタル・トランスフォーメーション推進」に関する連携協定を締結しました。

本協定は、本市と凸版印刷が互いに持つ資源やノウハウ、知見を共有し、緊密な相互連携と協働により、市民、行政、地域のデジタル変革の推進を図ることを目的としています。

協定締結により、デジタル・トランスフォーメーション(DX)全般についてアドバイスを受けるほか、デジタル



協定書に署名する伊藤市長(左)と凸版印刷株式会社東日本事業本部の小谷常務執行役員事業本部長(右)



市民サービス向上のため連携してDXの推進に取り組んでいきます

人材の育成などに連携して取り組んでいきます。

伊藤市長は、「本協定によって得られる支援を生かし、本市の行政運営の効率化、市民の利便性の向上、安全・安心な暮らしを実現するため、地域の課題解決に取り組んでまいります」と述べました。

本協定および本年3月に策定した「大崎市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」に基づき、「持続可能なデジタル田園都市」の推進に努めていきます。

まちの話題や出来事、
ニュースをお届けします！

CITY TOPICS



水害を想定したさまざまな救助・救出訓練



松山地域水防団による水防工法(木流し工)

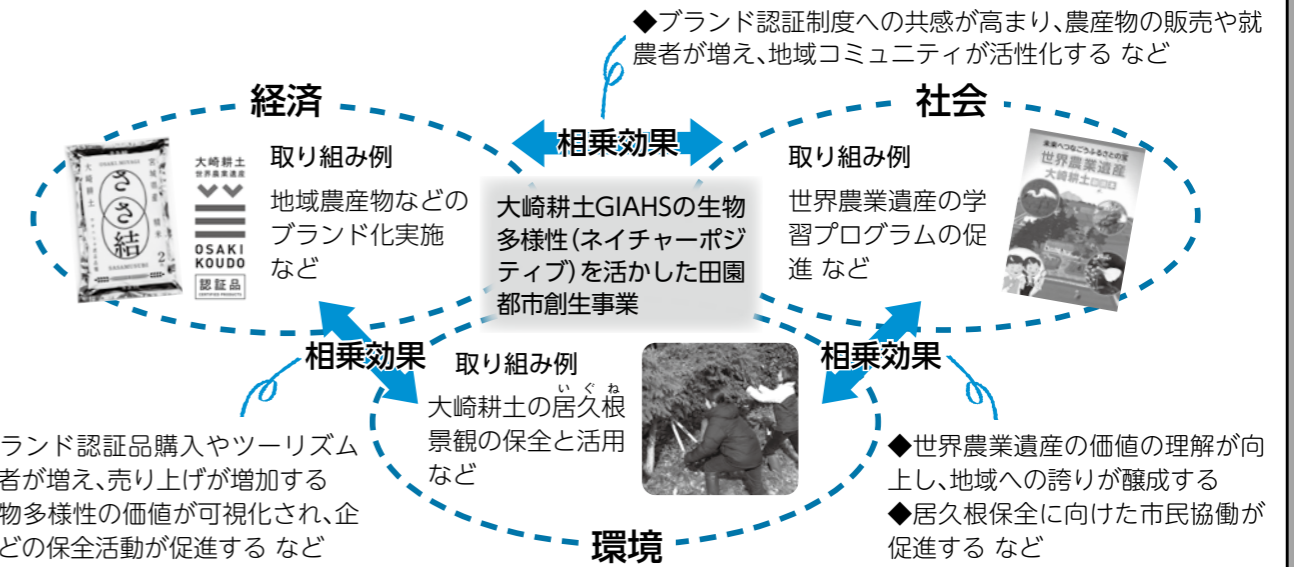
5月29日、古川地域(江合川河川公園付近)を会場に、北上川下流及び江合川・鳴瀬川総合水防演習を、国土交通省東北地方整備局と宮城県、本市を含む、北上川下流・鳴瀬川流域の14市町村の協力のもと実施しました。

当日は、14市町村の消防団や水防団、自主防災組織、自衛隊、海上保安庁など、約3千人が参加する大規模な演習となり、第一部は「洪水対応訓練・情報収集訓練」、第二部は「住民・関係機関による連携訓練」を実施しました。

北上川下流及び江合川・鳴瀬川総合水防演習を実施しました

自治体SDGsモデル事業「大崎耕土GIAHSを核とした持続可能な地域社会づくり」

世界農業遺産の認定から5年を迎える「大崎耕土」とSDGsを連動させ、「経済」「社会」「環境」の3つの側面に総合的に取り組み、新しい価値の創出を通じて、持続可能なまちづくりを推進していきます。



※GIAHSとは、世界農業遺産(Globally Important Agricultural Heritage Systems)のことです。